

109 年桃園市運動會-市長盃全國擊劍錦標賽

競賽規程

一、宗旨：為推廣擊劍運動，提昇擊劍水準，選拔優秀選手，舉辦本比賽。

二、指導單位：教育部體育署、桃園市政府。

三、主辦單位：桃園市政府體育局、中華民國擊劍協會。

四、承辦單位：桃園市體育會擊劍委員會。

五、協辦單位：桃園市立永豐高級中等學校、桃園市立新屋高級中等學校、桃園市立八德國民中學、桃園市立自強國民中學、桃園市立楊光國民中小學。

六、比賽日期：109 年 8 月 15 日（星期六）。

七、比賽地點：桃園市立永豐高級中學體育館。

八、比賽項目：

(1) 高中組

1. 男子鈍劍個人、2. 男子銳劍個人、3. 男子軍刀個人
4. 女子鈍劍個人、5. 女子銳劍個人、6. 女子軍刀個人

(2) 國中組

1. 男子鈍劍個人、2. 男子銳劍個人、3. 男子軍刀個人
4. 女子鈍劍個人、5. 女子銳劍個人、6. 女子軍刀個人

(3) 國小組

1. 高年級鈍劍個人、2. 高年級銳劍個人、3. 高年級軍刀個人
4. 中年級鈍劍個人、5. 中年級銳劍個人、6. 中年級軍刀個人
7. 低年級鈍劍個人、8. 低年級銳劍個人、9. 低年級軍刀個人

九、報名資格：在校生以學校為單位統一報名。

(1) 參加國小、國中、高中組選手資格需為桃園市公私立各級學校學生代表學校參賽。

十、報名辦法：

(1) 個人賽：

國小組、國中組、高中組可跨項，每人限跨一項，跨項參賽者若發生賽程衝突而無法出賽之情事，由選手自行負責。

(2) 報名日期：即日起至 109 年 7 月 30 日截止，一律網路報名(E-mail 寄件日期為憑)，主旨請寫明「109 年桃園市運動會-市長盃全國擊劍錦標賽報名-單位名稱」，請於報名表送出後 2 個工作日內來電確認收件。

報名聯絡人：鄧吉善，E-Mail：fencingbb@gmail.com，電話：0977-606478

十一、比賽程序：

(1) 109 年 8 月 15 日(星期六)

國小、國中、高中組鈍劍；國小、國中、高中組銳劍；國小、國中、高中組軍刀
選手檢錄時間為比賽當天上午 08:00 開始，08:30 檢錄完畢並準時開賽。

十二、比賽規則：依據國際擊劍規則總會(F.I.E)競賽規則進行，並實施消極比賽規定。

十三、競賽辦法：

(1) 預賽採分組循環，複、決賽採單淘汰制。循環賽每場 5 點/競賽時間 3 分鐘。直接淘汰賽每

1. 研究の目的と意義
本研究は、日本の経済成長と社会変革の背景にある要因を明らかにすることを目的とする。特に、戦後復興期における産業構造の転換と労働力の移動に焦点を当てる。この研究は、現代日本の経済政策や社会政策に重要な示唆を与えることが期待される。

2. 研究の範囲と対象
本研究は、戦後（1945年）から平成（1989年）までの期間を対象とする。対象地域は、関東地方を中心に、特に東京圏と中部地方の工業地帯に限定する。対象産業は、製造業、特に重工業と軽工業の両方に焦点を当てる。労働力の移動は、国内移動と海外移動の両方を検討する。

3. 研究方法
本研究は、定量的調査と定性的調査の両方を用いる。定量的調査としては、国勢調査、労働力調査、産業調査などの大規模な統計データを分析する。定性的調査としては、関係者のインタビュー、文書分析、フィールドワークなどを行う。また、時系列分析と空間分析の手法も活用する。

4. 研究の成果と結論
本研究の結果、戦後復興期には、製造業の高度化と労働力の高度化が同時に進んだことが明らかになった。特に、高度成長期には、高度な技術労働力が製造業に集中し、産業構造の転換を支えたことが確認された。また、労働力の移動は、地域間の格差を拡大する要因となったことが示された。結論として、現代日本の経済政策や社会政策は、労働力の高度化と地域間の格差の解消に重点を置くべきである。

5. 参考文献
本研究に引用した参考文献は、以下の通りである。国勢調査、労働力調査、産業調査などの大規模な統計データは、総務省、厚生労働省、経済産業省のウェブサイトから入手した。また、関係者のインタビューは、本研究のために実施した。文書分析は、関係機関の文書、新聞記事、学術論文などから行った。フィールドワークは、関係機関の視察、関係者の訪問などを行った。

6. 謝辞
本研究は、関係機関の協力と関係者の協力によって進められた。関係機関の協力と関係者の協力に感謝する。また、関係機関の協力と関係者の協力に感謝する。関係機関の協力と関係者の協力に感謝する。関係機関の協力と関係者の協力に感謝する。関係機関の協力と関係者の協力に感謝する。

場 15 點/3 回合，每回合 3 分鐘，中場休息 1 分鐘。

- (2) 單淘汰賽時，選手連續比賽，可依規定提出休息 5 分鐘請求。
- (3) 比賽開始前 10 分鐘，出賽運動員應到場準備，比賽開始後裁判點名不在場，三次點名：每次間隔一分鐘，第一次給予黃牌警告，第二次給予紅牌警告，第三次給予黑牌警告，同時取消該場次比賽資格。

十四、 器材規定：

- (1) 所有競賽場地器材與設備均須符合國際擊劍總會（FIE）規則之規定。運動員應自備全套擊劍服及相關比賽器材（包含擊劍服褲、3/4 護身衣、面罩、電劍、手套、電衣等）。面罩及擊劍服最低要求為符合國際標準 EN15367:2002 及其抗穿透力測試達 350 牛頓抗力以上。
- (2) 本次競賽無賽前器材檢驗，比賽選手自備合格劍具、裝備由場上裁判檢核。
- (3) 比賽裝備劍具請運動員自備，並準備上場的第二把(含以上)的預備器材，沒有預備器材，依規則之第一類罰則處罰之。

十五、 比賽與獎勵：

- (1) 各項比賽冠軍、亞軍、季軍(3、4 名並列)頒發獎牌及成績證明書，第五名至第八名頒發成績證明書乙份(各單項報名人數不足十二人者，則不頒第五名至第八名成績證明書)。
- (2) 獲獎選手於領獎時須穿著劍服或隊服(不得穿著短褲)、劍鞋或運動鞋。服裝未符規定者不得上台領獎。
- (3) 國小、國中、高中項目獲獎選手市府獎狀發給原則：參加各競賽組別達三隊（人）者，獎第一名；達四隊（人）者，獎前二名；達五隊（人）以上者，獎前三名。
- (4) 工作人員及指導人員敘獎：依「桃園市市立各級學校及幼兒園教職員獎懲要點」辦理。

十六、 附則：

- (1) 領隊會議於 109 年 8 月 15 日上午 08：10 在比賽場地召開。
- (2) 各比賽劍道，嚴格控管人員進入，除裁判及參賽選手，其餘人員請於休息區或看台上觀看比賽。(預賽只有比賽選手能進場，複賽能有一名教練進場指導。)
- (3) 已報名參賽選手若因重大事由無法出賽，請事先以書面通知本會，不得無故放棄比賽。
- (4) 報名表所填列之個人資料為本次賽會統一辦理投保。競賽成績提報教育部體育署等相關單位核備，此外不另作其他用途。

十七、 為強化性騷擾防治，本會性騷擾申訴管道如下：

- (1) 電話：02-8772-3033 傳真：02-2778-1663 電子郵件信箱：taipeifencing2@gmail.com

十八、 本競賽規程如有未盡事宜，大會得隨時補充之。

